



## 心ノ窓を開け放ち

## 自然に人が集まる所

遊牧民を意味する「ノマド」。農家の市場を意味する「マルシェ」。一見すると真逆に見える2つを組み合わせた「のまどなマルシェ」を企画する鈴木晃子さんにお話を伺いました。

織物業で働いていた鈴木さんは結婚・出産を機に就農。企画の立案が好きで鈴木さんですが、右も左も分からない農業を前にして、自分は裏方に徹しようという決意をしたそうです。しかし、数年後に転機が訪れます。米沢を楽しく・明るくするにはどうするか、という農業者と地域の人のワークシヨップで「マルシェ」の案が出ました。何年もエネルギーを貯めてきた鈴木さんは仲間と話し合い、なんと1週間での「のまどなマルシェ」を開催します。わずかな準備時間でしたが、大盛況でした。

それから毎月主催しているんですね、と尋ねると「主催しているというよりも、何かをやりたいというエネルギーを皆さん持っているのです、場所を提供しているだけです。出店者もボランティアスタッフもお客様も『のまどなマルシェ』の主役なので、皆さん自由にやっていま

## — 第4回 —

鈴木 晃子さん  
(大字築沢)

観光栗園「麦わらぼうし」を夫婦で営む。米沢市農業委員も務める。新規就農者や女性農業者と地域の人が横のつながりを持てる場を提供したい。

す」とのことでした。

今後の目標を伺いました。「続けていくことです。『のまどなマルシェ』に集まった方がお互いに刺激し、高めあい、コラボして新しい価値を創造したりしながら、次の世代の人がまた集まる。そういう循環ができれば良いと思います」。

素敵な人・モノが集まる「のまどなマルシェ」。ふらりと立ち寄ってみませんか？

